

産地生産基盤パワーアップ事業の評価結果

○ 産地パワーアップ計画の評価結果

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状						目標						実績						事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考
						年度		面積		生産量、出荷量又は処理量		年度		面積		生産量、出荷量又は処理量		年度		面積		生産量、出荷量又は処理量						
						年度	単位	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位						
唐津東松浦地域農業再生協議会	4	唐津市玄海町	果樹(かんきつ・キウイフルーツ)	集出荷貯蔵施設	集出荷・加工コストの10%以上の削減	平成28年度	903,946千円	330.12 ha	10,895,000 kg	平成32年度	754,940千円	333.8 ha	10,895,000 kg	令和2年度	754,818千円	312.3 ha	10,898,000 kg	(検証方法) 収支決算報告書により検証 【現状値】 903,946千円(既存3施設の実績より) 山本: 82,123,401円 浜玉: 578,959,884円 上郷: 242,862,330円 【目標値】 754,940千円 再編後の施設能力、稼働計画により試算 人件費: 190,000千円 電気・燃料費: 41,255千円 修理・車両費: 5,800千円 維持管理費: 2,200千円 通信・雑費: 4,750千円 資材費: 302,585千円 運賃: 208,350千円	100.1%	取組主体による効率的な選果場運営が図られ、集出荷コストの削減に関する成果目標を達成した。	事業効果により集出荷コストの削減が図られ、目標は達成できた。							
唐津東松浦地域農業再生協議会	5	唐津市玄海町	水稻	米共同乾燥調製施設の再編統合を行い施設運営コストの削減を図る。	集出荷・加工コストの10%以上の削減	平成28年度	集出荷・加工コスト 29,326千円	355.76 ha	1,253,700 kg	平成32年度	集出荷・加工コスト 18,638千円	380.39 ha	1,476,300 kg	令和2年度	20,618千円	334.5 ha	1,250,040 kg	(検証方法) 総代会資料: 収支報告書にて検証	81.50%	一定の効果は表れているが目標には届かなかった。効率的な操業計画の作成で人件費削減を図り更なる集出荷コスト低減に努めるよう指導。	一定の事業効果は見られたものの、目標には達成しなかった。施設運営コスト削減の取組に努めるよう指導を行う。							
白石町農業再生協議会	5	白石町	たまねぎ(中生)	茎葉処理設備の整備により集出荷コストの削減を図る	集出荷コストの10%以上の削減	平成29年度	23,153円/t	445 ha	2,244 t	平成32年度	20,752円/t	459 ha	2,726 t	令和2年度	16,956円/t	358 ha	3,049 t	(検証方法) JAの施設運営コストをもとに検証(現状値) H29の予備保管施設運営に要した経費を現状値とする。 合計 51,958千円 トン当たり 23,153円 (目標値) 茎葉処理設備を整備することにより、施設整備に伴い人件費を削減し、H29に比べ運営費を10.3%削減する。 目標運営費56,581千円 トン当たり 20,752円 削減額 2,401円 削減率 10.3%	258.1%	施設経費のコストの削減を図り、集出荷コスト削減の目標を達成できた。	事業効果により施設経費のコストの削減が図られ、目標は達成できた。							

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												地域(県又は国を含む)の面積(販売単価)	事業実施前年度	目標年度	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考
						年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		生産コスト		年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		生産コスト		年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		生産コスト																	
						年度	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位	単位	単位	単位	年度	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位																		
白石町農業再生協議会	3	南有明・有明干拓	たまねぎ	べと病被害軽減のための土づくり及び排水対策用機械の導入	販売額の10%以上の増加	平成28年度	単位面積当たりの販売額 26.0万円/10a	228.8 ha	6,271 t	95 円/kg	—	平成32年度	単位面積当たりの販売額 29.9万円/10a	211.3 ha	6,668 t	95 円/kg	—	令和2年度	単位面積当たりの販売額 23.8万円/10a	186.8 ha	6,368 t	70 円/kg	—	86 円/kg	68 円/kg	1.265	30.1	<検証方法> JAの出荷実績および販売実績をもとに検証 (現状値) H29実績はべと病被害により異常値となるため、H23~27の10aあたり販売金額の5中3を現状値とする。 平均単収 2,741kg/10a 平均単価 95円/kg 10a当り販売金額 260,395円/10a (目標値) H24~29の単収上位2年の平均値を目標値とする。 目標単収 3,156kg/10a 目標単価 95円/kg 10a当り販売高 299,820円/10a	105.1%	新型コロナウイルス感染症の影響により販売価格は大きく下落したが、販売額の目標を達成できた。	販売価格は下落したが、単位面積当たりの収量が増加し、目標は達成できた。																				
白石町農業再生協議会	4	六角	たまねぎ	べと病被害軽減のための土づくり及び排水対策用機械の導入	販売額の10%以上の増加	平成29年度	単位面積当たりの販売額 28.0万円/10a	63 ha	1,885 t	94 円/kg	—	平成32年度	単位面積当たりの販売額 31.6万円/10a	63 ha	2,118 t	94 円/kg	—	令和2年度	単位面積当たりの販売額 34.6万円/10a	56.7 ha	2,558 t	76 円/kg	—	93 円/kg	46.9 円/kg	1.368	46.9	(検証方法) JAの出荷実績および販売実績をもとに検証(現状値) 直近実績H29年を現状値とする。 平均単収 2,989kg/10a 平均単価 94円/kg 10a当り販売金額 280,966円/10a (目標値) H25~29の10aあたり販売額5中3の平均値を目標値とする。 目標単収 3,363kg/10a 目標単価 94円/kg 10a当り販売高 316,122円/10a	525.0%	新型コロナウイルス感染症の影響により販売価格は大きく下落したが、販売額の目標を達成できた。	販売価格は下落したが、単位面積当たりの収量が増加し、目標は達成できた。																				

白石町 農業再生協議会	6	白石町	施設野菜 (きゅうり)	低コスト耐候性ハウスの整備により、定植時期を前進化して収穫期間を延長することで販売額の10%以上の増加を実現する	販売額の10%以上の増加	平成29年度	単位面積当たりの販売額 4,874千円/10a	3.6	ha	589	t	299	円/kg	—	平成32年度	単位面積当たりの販売額 5,757千円/10a	3.9	ha	757	t	299	円/kg	—	令和2年度	単位面積当たりの販売額 5,690千円/10a	3.7	ha	759	t	277	円/kg	—	277	円/kg	272	円/kg	1,018	5,788 千円/10a	(検証方法) JAの出荷実績をもとに検証 (現状値) 平成29年産実績を現状値とする。 平均出荷量 16,304kg/10a 平均単価 299円/kg 平均販売額 4,874千円/10a (目標値) 低コスト耐候性ハウス整備によって出荷量が増加することにより、平均出荷額を増加させる。 平均出荷量 19,257kg/10a 平均単価 299円/kg 平均販売額 5,757千円/10a 増加率 18%	103.5%	低コスト耐候性ハウスの整備により、定植時期を前進化して収穫期間を延長することができ、出荷量を増加させることができた。	単価は目標値を下回ったが、生産量は順調に伸びており、また価格補正により目標以上の販売額をあげている。
----------------	---	-----	----------------	--	--------------	--------	----------------------------	-----	----	-----	---	-----	------	---	--------	----------------------------	-----	----	-----	---	-----	------	---	-------	----------------------------	-----	----	-----	---	-----	------	---	-----	------	-----	------	-------	-----------------	--	--------	--	--

都道府県 平均達成率	96.9%	総合 所見	令和2年度評価の対象地区である、6地区のうち、目標達成している地区は5地区、未達が1地区となっている。また、県全体での平均達成率は96.9%となった。 品目別では、野菜について達成が4地区、果樹について達成が1地区、水稲について未達が1地区となっている。 未達となった地区では、燃料費など一定の削減効果は表れているが、収穫期の天候不良により、操業日数及び労務時間が増加したため、予定よりも人件費が増加し、施設運営コスト削減が目標には届かなかった。 未達の取組については、今後目標達成となるよう関係機関と連携し、施設運営コスト削減の取組に努めるよう指導を行っていく。
---------------	-------	----------	---

○ 取組主体計画の評価結果

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	取組目標			事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
											現状値 (28年度)	目標値 (32年度)	実績 (2年度)					
唐津東松浦協議会	4	1	唐津市玄海町	唐津農業協同組合	果樹 (かんきつ・キウイフルーツ)	333.8	457	平成30年度	平成32年度	集出荷コストの10%以上の削減	903,946千円	754,940千円	754,818千円	【集出荷貯蔵施設】 ・光センサー選果機 一式 ・低温貯蔵庫工事 ・建屋空調設備工事	100.1%	ロット確保及び効率的な選果場運営を行ったことにより事業計画の達成ができた。	取組主体による効率的な選果場運営が図られ、集出荷コスト削減に関する成果目標を達成した。	施設経費のコストの削減が図られ、集出荷コスト削減の目標を達成できた。
唐津東松浦協議会	5	1	唐津市玄海町	唐津農業協同組合	水稻	380.39	500	平成30年度	平成32年度	集出荷コストの10%以上の削減	集出荷コスト 29,326千円	集出荷コスト 18,638千円	集出荷コスト 20,618千円	【乾燥調製施設】 ・トラックスケール一式 ・乾燥機増設 20t×3基 ・ロボットパレタイザ1台 ・色彩選別機 1基 ・集塵装置一式、粗選機2基 ・自主検査設備一式 ・その他移設工事一式	81.5%	収穫期の天候不良により、操業日数及び労務時間が増加したため、予定よりも人件費が増加した。燃料費など一定の削減効果が図られている。	一定の効果は表れているが目標には届かなかった。効率的な操業計画の作成で人件費削減を図り更なる集出荷コスト削減に努めるよう指導。	一定の事業効果は見られたものの、目標には達成しなかった。施設運営コスト削減の取組を行うよう指導を行う。
武雄市農業再生協議会	1	1	武雄・嬉野地区	施設胡瓜環境制御型耐候性ハウス組合	きゅうり	0.726	3	30	32	総販売額の10%以上の増加	22,215,744円	57,602,160円	47,624,990円	【低コスト耐候性ハウスの整備】 ・3棟 4,119㎡ (作付面積3,864㎡・管理室255㎡) ・付帯設備 暖房設備、炭酸ガス設備、CO2局所施用設備、循環扇設備、複合制御盤設備、細霧冷房装置	71.8%	周年栽培による収量・金額向上する為、的確な栽培管理を行った。収量は向上したが、単価の厳しい面があり金額達成へ繋がらなかった。高値・安値関係なく年間安定的な収量UP及び平均単価UPでの目標額を達成できる見込み。	周年栽培による収量・金額向上する為、的確な栽培管理を行った。収量は向上したが、単価の厳しい面があり金額達成へ繋がらなかった。高値・安値関係なく年間安定的な収量UP及び平均単価UPでの目標額を達成できる見込み。	一部単収が伸び悩み、目標達成できていない。収量向上を図るとともに高値・安値関係なく年間安定的な出荷による平均単価の向上を図り目標達成を目指す。
白石町農業再生協議会	5	1	白石町	佐賀県農業協同組合	たまねぎ(中生)	459	1,000	平成30年度	平成32年度	集出荷コストの10%以上の削減	(平成29年度) 23,153円/t	20,752円/t	16,956円/t	集出荷貯蔵施設 茎葉処理機(3,360kg/h)2台	258.1%	施設経費のコスト削減を図り、集出荷コスト削減の目標を達成できた。	施設経費のコスト削減を図り、集出荷コスト削減の目標を達成できた。	施設経費のコスト削減が図られ、集出荷コスト削減の目標を達成できた。
白石町農業再生協議会	6	1	白石町	白石地区胡瓜施設第二組合	施設野菜(きゅうり)	1.47	5	平成30年度	平成32年度	販売額の10%以上の増加	(平成29年度) 単位面積当たりの販売額 4,974千円/10a	単位面積当たりの販売額 7,458千円/10a	単位面積当たりの販売額 6,162千円/10a (補正係数 1.018)	生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス21棟9,888㎡ (複合環境制御装置、自動カーテン装置、点滴灌水施肥装置、多目的細霧冷房施設、炭酸ガス設備、天窓自動開閉装置、換気扇、防虫網、加温装置、循環扇)	47.8%	低コスト耐候性ハウスの整備により、定植時期を前倒しして収穫期間を延長することができたが、定植後の日照不足や一部圃場で冠水被害による定植遅れがあり収穫量が目標に届かなかった。	出荷量は前年より増加している。適期作業や栽培管理の徹底により品質向上に向けた取組を行うよう指導を行う。	出荷量は前年より増加したが目標単収には及ばず、目標販売額を達成できていない。適期作業や栽培管理の徹底により単収・品質向上に向けた取組を行うよう関係機関一体となって指導を行う。
白石町農業再生協議会	3	5	南有明・有明干拓	有明干拓もみ殻暗渠施工機組合	たまねぎ	9.6	5名	平成30年度	平成32年度	販売額の10%以上の増加	(29年度) 単位面積当たりの販売額 18.8万円/10a	(32年度) 単位面積当たりの販売額 22.1万円/10a	単位面積当たりの販売額 23.6万円/10a (補正係数 1.265)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台	145.5%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により販売価格は大きく下落したが、販売額の目標を達成できた。	販売価格は下落したが、単位面積当たりの収量が増加し、目標は達成できた。
白石町農業再生協議会	4	1	六角	個人	たまねぎ	13.7	1名	平成30年度	平成32年度	販売額の10%以上の増加	(29年度) 31.9万円/10a	(32年度) 36.5万円/10a	単位面積当たりの販売額 61.8万円/10a (補正係数 1.368)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台 (施工深調整アタッチメント有)	650.0%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	新型コロナウイルス感染症の影響で価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	販売価格は下落したが、単位面積当たりの収量が増加し、目標は達成できた。